



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:95 平成22年3月15日

…つばやきサロン…

デイサービスでの出会い

私の子供に生まれつき障害があり、将来この子が世話になるだろう病院や高齢者施設を職員の立場から見ておこうと、介護職を選び働き始めました。

働く前の私は、健康に産んでやれなかった負い目と兄弟がいじめに合わないようにと3人の子供に小さな頃から習い事ばかりさせていました。子供達も息が詰まりそうだったと思います。働き始め、外に目を向けることで私自身も子供達も自立出来たように思えます。

家族の立場と施設の立場と両方を理解した上で、経営者や介護スタッフの対応に疑問を抱き、7ヶ月程前に自ら高齢者デイサービス「喫茶店（きっちゃてん）」をオープンしました。眠くならないデイサービスが目標です。楽しいときは眠くなりません。寝てくれると施設や介護スタッフはとても仕事がかどります。しかし夜は眠らず徘徊を繰り返します。きっちゃてんに通所されている方は、90歳前後、最高齢は100歳！お昼寝される方は今のところ一人も居ません。4時になると「楽しかった。もう、帰らないけんかね？」と言われます。

人と会い、話をしたり頼りにされたり役割を持つことで生きがいを見つけたようです。私も皆さんを頼りにしています。長い人生の中、戦争を経験したり、女手ひとつで昼も夜も働き子供を育てた方、本当に頭が下がります。素晴らしい方ばかりです。お年よりも時には機嫌の悪い時もあります。同じ事を何度も言ったり聞いたりします。私達は何度でも聞きます。答えます。愛おしくて大好きだから。

この広い世の中で偶然知り合い、人生の締めくくりともいえる貴重な時間を私に託して下さい、とても幸せであると共に責任を感じております。

毎日が楽しくて、このまま時が止まれば良いのにと考えてしまう今日この頃です。



NPO法人YOU・ゆう 理事長 木村 智子

第99回・サポートセンターの日/2010・2・26

★NPO発表会★

あなたの居場所はどこにある
～ゆっくり共に歩いていこう～



特定非営利活動法人フリースクール

茶屋町総合学習センター研究員 向野哲也さん

茶屋町総合学習センターは学習塾からスタートしました。一般の進学塾ではなく、学校の勉強についていけない子や親が遅くまで働いている子ども等を預かったりと、いわゆる学童保育のような場所でした。その中に「実際には学校に行っていない子どももいる」ことに気づき、どうにかしてあげたいと思いようになりました。また、親もその事で悩んでおり、親の支援も必要だと感じるようになりました。

そんな折、1999年に日本フリースクール連盟の発足を知り、そちらに加盟し、不登校の子ども達の支援に本格的に取り込むようになりました。

それから10年間、当スクールは一人ひとりを大切にすることをモットーに活動を続けています。せっかく、スクールに来た子どもたちが、再び家にひきこもらないように自信を持たせ、様々なことに取り組みるように寄り添い、応援してきました。

たとえば、当スクールでは勉強も大事ですが、まず、普段の生活の中で基本的なルールを身に付け、自然と生活力を高めるところからスタートします。そして、学校との連絡を密に行い、情報を共有し、勉強も無理強いさせず、得意なところを伸ばしていき、成功体験を積みせるよう努力しています。

また、保護者の話を聞き、勉強会・講習会等を重ね、親を支援することで家庭が明るくなり、笑顔が生まれ、いい変化が見られるようになりました。

「子どもたちに無条件の愛を」という思いで始まったスクールですが、「甘やかし」とは違います。

「あなたがあなただから、愛してる」という無条件の愛を今後も子どもたちに注ぎながら、大学生や卒業生のボランティアに支えられながら、これからもスクールの運営を続けていきたいと思えます。



NPO法人STEP・北九州

理事 田中美穂さん

NPO法人STEP・北九州の前身は任意団体「学校に行かない子どもを支える会・北九州」で1991年に発足し、活動してきました。主な活動は親の会を中心に講演会やシンポジウム、学習会を開いたり、子ども達のためのフリースペースの運営やサークル活動、野外活動にも取り組んできました。

しかし、近年は不登校の相談より、学齢期を外れた10代後半から成人に達する年代の方の相談が増え、その方々の居場所作りや就労の対応が求められるようになりました。

そこで16年間の活動にいったんピリオドを打ち、「今、求められているものは何か？」を新たに模索し、時代のニーズに沿った、ひきこもり支援を中心にした活動団体として、2007年6月に「STEP・北九州」の名前で再スタートを切ることになりました。

会員さんの一部屋をフリースペースの場所として借り、お茶を飲みながら、雑談やゲームをして、気軽に小さなコミュニティに参加する気分で、ゆったりした時間を過ごしてもらうなど、お金をかけずに活動を続けた結果、色々な学びを得ることができました。

その後、NPOの法人化を考えたのは活動が自己満足で終わってしまうより、次の人へのバトンタッチが大切で大きな目的はそこにあると考えたからです。また、活動を共にしている若い人たちも「是非、やりましょう」と背中を押してくれ、勇気をもらいました。お陰で2009年8月に多くの人の協力を得て、NPO法人になりました。

昨年10月1日から市の委託を受け、「ひきこもり支援センター」を戸畑のウェルとばた内に開設し、支援や相談、情報提供などを行っています。

これからも「袖すり合うも他生の縁パワーメント」をスローガンに掲げ、社会的ひきこもり支援を中心に据えて活動を行っていかうと思えます。

募集

◆平成22年度JICA「青年海外協力隊」春募集

技術や経験を活かして開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、協力活動を展開していく海外でのボランティアです。

- 募集人数：1,400名
- 募集分野：8部門 約120職種
- 募集期間：4月1日(木)～5月17日(月)
- 派遣国：約80ヶ国
- 応募資格：満20歳から満39歳までの日本国籍を持つ方
- 派遣期間：原則2年間
- 待遇等：JICAの規程に基づき、往復旅費、現地生活費、住居費、国内積立金等支給
- 体験談&説明会日程については下記HP参照
- 問合せ先：JICA九州(北九州市八幡東区)
TEL093-671-8349
<http://www.jica.go.jp>

◆さんぽサンデー第3回 とほほん市in小倉 参加者募集!

参加者が自分の家の本棚に眠っている書籍を一箱分セレクトして販売する、小さな古本市です。

- 日時：3月28日(日)11:00～16:00
- 場所：京町銀天街(紫川寄り)
- 参加費：500円
- 定員：先着50店
- 問合せ・申込み先：とほほん市実行委員会
メール info.tohohon@gmail.com
TEL&FAX093-582-4785(吉武)
<http://tohohon.jugem.jp/>



助成金情報

★平成22年度「水辺を活かす」活動助成

河川・海岸等の水辺空間に関して、市民の方々の関心を高め、水辺へ親しむ心を促進するため、市民団体等が河川・海岸等の水辺で行う活動やまちづくり等の活動に対し、その費用を助成します。

- ★助成額：1活動あたり10万円を限度。
(助成件数25件程度、1活動/1団体)
- ★申込締切：4月19日(月)(必着、FAX不可)
- ★財団法人 リバーフロント整備センター 企画グループ「水辺を活かす」活動助成事業 事務局
〒104-0033
東京都中央区新川1丁目17番24号
ロフター中央ビル
TEL03-6228-3860
FAX03-3523-0640
Eメール mizubei-j@rfc.or.jp
<http://www.rfc.or.jp/>



★2010年全労済地域貢献助成事業

「環境を守る」「子どもの健やかな育ちを支える」両分野で、地域に密着して地域の住民が参加するような草の根活動を展開する団体を支援します。

- ★助成対象となる活動
1. 環境分野 2. 子ども分野
- ★助成対象団体：日本国内を主たる活動の場とする
NPO法人、任意団体等
- ★助成総額：2,000万円(上限)予定
環境分野1,000万円、子ども分野1,000万円
1団体30万円(上限)
- ★申込締切：4月5日(月)(当日消印有効)
- ★全労済 経営企画部内 地域貢献助成事業事務局
〒151-8571
東京都渋谷区代々木2-12-10
TEL03-3299-0161
FAX03-5371-2685
Eメール 90_eco@zenrosai.coop
<http://www.zenrosai.coop/eco>

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. NPO法人の理事が事務局職員を兼任し、給与を得てもいいですか。

A. 理事が事務局の職員を兼任して給料をもらったり、あるいはパート職員として仕事をしてその分の時給を受け取ることは可能です。これらは、役員という職務に対しての「役員報酬」ではなく、職員としての労務の提供に対する報酬にあたります。

NPO法には、「役員のうち報酬を受ける者の数が、役員総数の三分の一以下であること」と規定されていますが、これは役員としての職務に対して報酬を受ける役員数に関する定めであって、職員としての労務の報酬を受ける役員の数はこれに含まれません。

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年1月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	37,597	36,115	455
【福岡県】	1,361	1,319	1
内閣府	3,332	3,102	138
全国計	40,929	39,217	593

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成22年2月28日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	292	251	—

2010年2月に認証された特定非営利活動法人

ONPO法人北九州リバーサイド

ミュージックBOX（2月3日認証）

毎月25日は「サポートセンターの日」

発表者大募集！

サポートセンターでは、毎月25日を「サポートセンターの日」と定め、「NPO（市民団体）活動発表会」を定期開催しています。団体の活動を多くの人に知ってもらい、理解や協力を得る場としてご活用ください。

発表を希望される団体の方、ぜひ当センターまでご連絡ください。

○日時：毎月25日18：30～20：00
（土・日・祝の場合は繰下げ）

○会場：北九州市市民活動サポートセンター

○内容：1団体（人）につき30分程度発表。その後、参加者を交えて意見交換を行います。

※開催スケジュール等により、ご希望に添えない場合があります。

レターケースを利用される 団体を募集します！

サポートセンターでは、NPOや市民団体を対象にロッカー及びレターケースの無料貸出を行っています。郵便物の受け取り、事務用品の一時保管など、団体共有の保管場所として利用できます。

今回はレターケースのみの募集となりますが、ご利用を希望される団体は4月から申込みを受け付けます。

詳しくは当センターまでお問い合わせ下さい。



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp



市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応 …月～土曜日 17：00～21：00
日曜日・祝日 13：00～17：00

◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日《10：00～21：00》
日曜日・祝日 《10：00～17：00》
【休館日】3月25日（木）



編集後記

「行く」1月、「逃げる」2月、「去る」3月と言われるように今月もあつという間に過ぎようとしています。この3ヶ月を振り返ってみると、一体私は何をしてきたのかしら？と怖いくらいすぐに思い出せません。ただ時間に追われて、日々忙しかったような……。最近、友達と「近頃物忘れがひどくて…」「あら、私もよ。漢字がなかなか思い出せなくて、情けない」など言い、お互いを慰め合うような会話が增えた気がします。（いや～確実に増えてるなあ）そういえば、最近眼も悪くなって、文字が読みづらいし……。ショック!!! byおすぎ